

八丈島 水産だより

2月号

2015



ヤブツバキ



八丈富士と虹

冬の八丈島は強い西風が吹くことが多いのですが、この冬は八丈島の近くを発達した低気圧がいくつも通り、そのたびに、島に吹く風の向きが大きく変化しています。漁師さんたちは時化が続くなか、島影で風が弱くなる時と場所を考えて、少ない機会を逃さないように出漁しています。

天気が目まぐるしく変わったある日、すばらしい虹が見えました。虹の見えることが多い八丈島ですが、両端まで見えるのは珍しいことです。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん

■ 全国学校給食週間



ムロアジのミンチ



トビウオのミンチ



ムロアジメンチ



ムロアジハンバーグ



トビウオボールのシチュー

小学校の給食
メニュー例

戦後、給食が再開された12月24日は、給食記念日とされていて、文部科学省は毎年1月24日から31日までを全国給食週間と定めています。皆さんの給食にも郷土料理や昔の給食メニューなどが出たと思います。

給食週間に合わせて、八丈島漁協女性部にはムロアジやトビウオのミンチの注文がたくさん入り、女性部の人たちは毎日のように、学校への発送作業などに追われていました。この時期は海が荒れ、定期船が欠航することもあります。決められた日に学校へ到着させるため、発送するタイミングを考えながらの作業となります。みなさんの学校ではこのミンチ、どんなメニューになりましたか。

りょう

■ トビウオ漁がはじまりました

1月25日夜から今年のトビウオ漁がはじまりました。初日の水揚げは200尾ほどで、翌日もあまり獲れませんでした。

現在、黒潮が大きく蛇行し、青ヶ島の南を通り、伊豆諸島の東側を北上しています。蛇行したところには冷水塊（冷たい海水のかたまり）ができていて、八丈島の周囲の海水温が低くなっています。ハマトビウオは暖かい海水を好むため、群れが島から離れていると考えられます。蛇行が消えて、海水温が上がることを願います。



ハマトビウオ